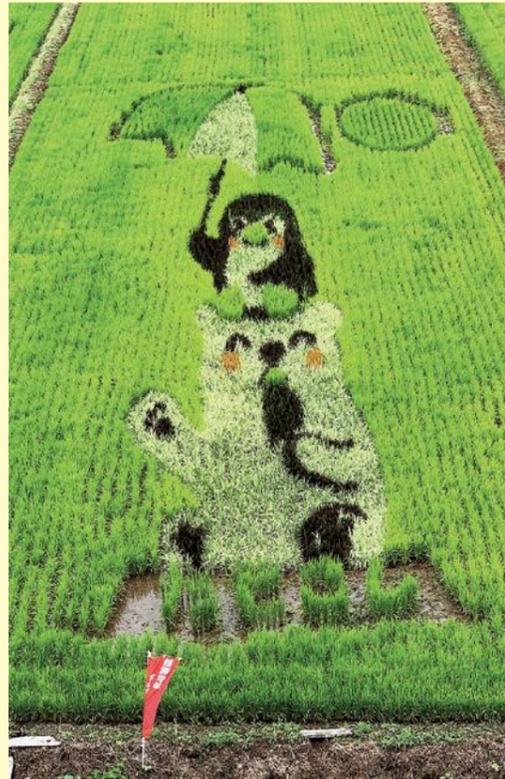


朝日地域各まち協では、「市民協働のまちづくり」を推進するため、さまざまな取り組みを進めており、地域のキーマンとなる人材の育成と、地域住民が主体となった新たな魅力づくりや互助活動を推進する事業を支援していきます。

田植えイベントや稲刈りイベントには大人から子どもまで多くの方に参加いただき、「またやりたい」、「自分が植えたアートを見るのが楽しみ」、「みんなで作り上げる事業はやりがいがある」と大好評でした。見頃を迎えた7月にはライブアップを行い、多くの見学者にお越しいただきました。

「館腰地域まちづくり協議会」では3年ぶりとなる「田んぼアート」を実施しました。熊登集落の田んぼを借用し、集落の協力のもと、地域住民の手で作上げる田んぼアート。3回目となる今回は「暑い夏に涼しいアートを」をテーマに、アイスを食べるシロクマと日傘を差すペンギンのイラストを表現しました。

朝日地域では館腰・三面・たかね・猿沢・塩野町の5つのまち協があり、コロナ禍により思うような活動ができていなかった昨今ですが、今年度はこれまでのやり方に工夫を加え、さまざまな活動を実施してきました。



▲【朝日】田んぼアート



▲【朝日】田植えイベント



▲【山北】大毎田植えツアー



▲【山北】地域おこし協力隊・集落支援員・まちづくり協議会役員との意見交換会

今後は2集落程度をモデル集落として定めて、集落内での話し合いから問題意識の共有を図り、「誰かがやってくれる」という意識ではなく「自分が（自分たちが）なんとかしなければ」と捉える「ワガゴト化」を進め、課題解決などへ向けた取り組みへとつながるよう、皆さんと一緒に歩みを進めていきたいと考えています。

まちづくり計画の第3次計画が始まった今年度。今後の地域を考える上で、まずは地域の皆さんが今の暮らしをどのように感じているのかの声を集め、整理・分析することが必要と考え、山北地域に住んでいる中学生以上の方を対象に「全住民アンケート調査」を令和4年9月に実施しました。まち協と集落支援員が連携し、アンケート用紙の配布、回収を行ったことと併せ、住民の皆さんのご協力のおかげで高い回収率となり、より多くの地域の声を集めた精度の高い分析を行うことができました。

2月には、山北地域の集落代表の方々に対象にアンケート調査の結果説明会を実施し、アンケートの分析により見えてきた地域における現状や課題などを共有しました。

地域の情報、まち協の活動を住民の皆様にお伝えする支援情報部会。広報誌「あらかわらばん」を毎月発行しているほか、ホームページ・FacebookなどのSNSを活用し、随時、地域の情報を発信しています。令和5年度はまちづくり計画の改定を予定しています。現計画の検証と地域課題の整理を行い、5年先の未来を見据えた計画を作ります。

あらかわ地区まちづくり協議会は3つの部会を設けて活動しています。各種事業を開催する事業部会。ラベンダーなどを栽培し、その関連製品を製造する「ハーブメイッあらかわ」やツリーハウス制作プロジェクト「Grassroots1004」などの活動を通じて仲間づくりを進めています。また、まち協の拠点施設のつどい場「あら、ほこ」を活用して「おとな時間を楽しむ会」「たごえ広場」など、各種イベントを開催して新たな出会いの場を設けています。

将来のあらかわを創る団体、個人の活動を支援する「あらかわみらいファンド」を展開する育成部会。地域唯一の高校「県立荒川高校」と職業体験特別授業「仕事を知らう！地域を知ろう！」も実施しています。



▲【荒川】こころでひといきマルシェ



▲【神林】合同防災研修会



▲【荒川】あらかわみらいファンド審査会



▲【神林】ハロウィン&かかし祭

これからも隣近所が力を合わせ、災害に強い元気あふれるまちを目指します。

神林地域では、防災の取り組みに力をいれています。これまで防災の要素を取り入れた集落対抗運動会や集落合同で心肺蘇生法やテントの設営訓練を行う防災研修会などを実施してきました。今年度は、集落役員を対象に研修内容をレベルアップして、地震災害を想定した住民主体の物資運搬や避難所設営を行いました。

関係人口創出・拡大事業の取り組みにも力を入れています。神林地区関係人口創出事業実行委員会を立ち上げ、地域内の小中学校や企業などから協力をいただき、今年度も昨年度に引き続き道の駅神林にて「ハロウィン&かかし祭」を開催し、神林地域のファンづくりや地域外の考えを取り入れるためのアンケート調査を実施しました。また、新たに関係人口創出に取り組み団体へのサポート事業を開始したところ、サポート事業を利用したイベントの参加者が8月の豪雨災害の際にボランティアに来ていただくなど、活動の成果が少しずつ表れてきています。